

選定された法人職員が入所者に対して暴行の疑い

味鏡保育園の民間移管はいったん中止に

党市議団が市長に緊急申し入れ（12月7日）

名古屋市立味鏡^{あじま}保育園を2018年4月に民間移管するために選定された社会福祉法人が運営する介護施設において、11月10日職員による入所者への暴行が疑われる事件が発覚し、日本共産党名古屋市議団は市による調査結果が明らかになるまで、味鏡保育園の民間移管手続きを進めないよう河村市長に申し入れを行いました。

申し入れに対して市長からは、選定された法人の介護施設と保育園の運営は分けられており、人事交流もないとの報告を受けており「別会社みたいなものだ」との認識を示しました。

党市議団は、選定法人の責任は重いとしたうえで、民間移管を進めるにしても、2018年4月の移管日程に合わせるのではなく、調査結果が明らかになった段階で移管手続きを進めてはどうかと問いました。

市長からは他都市において同様の事件が起きた時の対応を尋ねられ、この問題を本会議質問で取り上げた岡田ゆき子議員は、東京都品川区では保育事業者を交



河村市長（右）に申し入れる、（左から）青木、高橋、田口、岡田、さはしの5議員＝7日、名古屋役所

代させたケースを示し「移管のスケジュールありきで進めないように」と重ねて求めました。

市長からは「厳しいチェックはするように言っておきます」と答えました。

2016年12月7日

名古屋市長 河村たかし様

日本共産党名古屋市議団 団長 田口一登

味鏡保育園の民間移管の一旦中止を求める緊急申し入れ

名古屋市立味鏡保育園は、公募要件である、「市内保育実績5年以上」を「3年以上」に引き下げて再公募を行い、市内で保育実績3年の社会福祉法人が選定された。

ところが、選定法人が決定した直後に、移管先の「社会福祉法人やすらぎの郷」が運営する特別養護老人ホームの施設内で、男性職員による入所者への暴行と疑われる事件が内部告発によって発覚した。

12月10日に、当該法人理事も参加の保護者説明会が予定されているが、現在、健康福祉局による社会福祉法人及び施設の調査中であり、説明会までに、調査結果が示される状態ではない。

そうした現状の中で、11月30日、さらに他の入所者への暴行が発覚し、再逮捕される事態となっている。

保護者の不安は大きく、また、他の法人からも「暴

行事件を起こし、調査を受けている法人が新たな事業を受託することは問題」といった意見も聞かれることから、調査結果が出ないまま、民間移管への実務を進めるべきではなく、虐待防止に力を入れ、安心安全な保育を進める子ども青少年局の姿勢も問われる。

以上のことから、日本共産党名古屋市議団は、味鏡保育園の民間移管に対し以下の申し入れを行うものである。

【申し入れ事項】

1. 味鏡保育園の民間移管については、当該社会福祉法人及び施設に対する市の調査結果が明らかになるまで、民間移管の手続きを進めないこと。
2. 移管日程に間に合わないとなった場合、当面市の責任で運営を継続すること。